

---

# 戦争の狂気

流太郎

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

戦争の狂氣

### 【著者名】

流太郎

N0433D

### 【あらすじ】

戦争によって深い傷を負った男は愛すら感情すらも忘れてしまつていた。

1945年8月15日戦争は終結した…。

何千万もの犠牲者を出したこの戦争は  
世界中の人々の胸に  
決して消える事の無い深い傷を残した…。

故郷に愛する人を残し必ず帰つてくると誓い戦場に向かつた人々は  
遠い地で国や愛する者を守るため必死で戦い死んでいった…。

そして戦争における

真の恐怖は

人間の心の奥底にある狂氣を呼び起こす魔力だ。

人間の狂氣の前では

人間の尊厳など皆無に等しい。

ドイツ軍や日本軍が  
行つた残虐な行為が  
全てを物語つている。

そして終戦を迎えて

一年後の1946年12月…

ソビエト連邦にある  
とある空港に飛行機が着陸した。

一人の男が飛行機から降り立つた。

雪が津々と降り積もり凍えるよつた寒さの中野はひたすら夜の町を歩き続けた。

男はある一軒の家の前で立ち止まつた。

暫くしてゆつくりと  
ドアに近づいた。

そしてノックをした。

『…どなたですか?』

中から女の声がした。

『デルコフ・シャイヤーさんはいらっしゃいますか?』

『私がそうですが…』

『この手紙を貴方に渡してくれと戦友に頼まれまして…』

シャイヤーは

その手紙を受け取り

読み始めると

突然ドアを閉めた

そして中からすすり泣くよつな声が聞こえてきた

暫くして

ドアが再び開いた

『「あんなさい…  
わざわざありがとう  
いざれこまか』

『いえ…

僕もこれで思い残す事はありません…  
ではお元氣で』

男は家を後にした。

シャイイナーは一人ベットの上で手紙を読んでいた。

愛するシャイイナーへ

今僕は

遠い異国之地にいる。明日の朝に大規模な  
戦闘が始まる

君に会いたい。

死ぬ前に一度だけでも君に会いたかった。

君と話したかった。

君を抱き締めたかった僕は君を何時も見守っているから  
愛してやるシャイイナー

永遠の愛を込めて  
カエザフ・ルコニフ  
より

男はホテルに  
チェックインすると  
すぐに眠りに落ちた  
薄暗い部屋の中に  
大勢の人達がいる

すると

部屋のドアが開き

白衣の男が入ってきて小さな男の子を連れていった。

その以降

その男の子を見掛けた事は無くなつた。

寒い…

既に足の感覚は  
無くなつていい…。

このまま

死ぬんだろうか…。

もういつその事

殺してくれた方が楽だ無限に続く地獄からは決して抜け出す事は出来ない…。

悪夢から目が覚めた

悪魔の手から逃れられたのはまさに奇跡と言つていいだろつ

悪魔の幻影は一生男にまとわりつくだろつ  
幻影は決して消える事はない。

供に戦い

供に生き抜いた

者達の大半は

幻影によつて殺された

人間の尊厳など

全く無い

人として扱われる事は決してない。

男はまさに

悪魔の所業と呼べる

行為の中核にいた

戦争の末期

1945年6月

男は日本軍の捕虜となつた

そして地獄と呼べる

日々が始まった

男を待ち受けていた  
現実は想像を絶する  
ものだった

現実を受け止める事ができずに精神が破壊される者も大勢いた

男は想像を絶する地獄の中で必死に耐えた

愛する者との誓い約束を守るために

だが悪魔の所業によつて人々は次々に減つていく

希に戻つてくる

者もいたが

それは幸運とは無縁のものだった

地獄が長引くだけ

ただそれだけだった

男は不運にも数回に渡る奇跡の生還を果たす  
男は自らを呪つた

『死』がこの地獄から抜け出す為の  
唯一の救いであつた

だがその救いの手は  
指し伸ばされる事は  
無かつた

そして戦争が終結し  
男は悪魔の所業から  
解き放たれた

だが悪魔はその命が  
死のまで付け狙う

たつた数カ月間の  
出来事なのだが

人間がヒトであると  
言う事を忘れさせる  
には十分すぎるほどの時間であった

男は帰りの飛行機の  
中で眠りについた

男は客室乗務員に起こされて目が覚めた

『カエザフ・ルコニーフさまで』『ぞいますね？飛行機が着陸いたしましたよ』

『ああ、すまない  
ありがとうございます』

男は愛する人に一目  
会えてもう思い残す

事は無かつた

昔の思いでの地

思いでの場所で

男は生涯の幕を閉じた

『これで悪夢から  
解放される…』

静寂な夜の闇の中で

銃声の音がこだました

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0433d/>

---

戦争の狂気

2010年10月15日17時16分発行